

報道関係者各位

2020 年 1 月 22 日

PRESS RELEASE

株式会社データベーステクノロジー

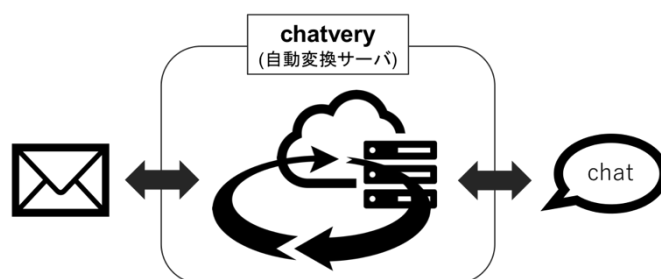
代表取締役社長 鈴木隆史



メールをチャットへ自動変換、ビジネス向け高機能チャットを実現

クラウドメーカー「chatvery」のご案内

データベースシステムの運用支援を行う株式会社データベーステクノロジー(本社:京都市中京区、代表取締役社長:鈴木隆史)は、企業の電子メールサーバーへ接続する「チャット変換エンジン」を開発し、電子メールの有用性とチャットのコミュニケーション促進効果を両立させた新しいサービスの提供を開始しました。(<https://www.chatvery.com>)



【 背景 】 コミュニケーション促進で生産性向上へ

労働人口減少が進むなか、企業においては生産性向上と従業員定着率、加えてリモートワーク・ワークシェアリングなど多様な働き方への対応が必要となっています。近年の調査では「協力型コミュニケーション」の業務成果への影響が分かっています。良質な職場内コミュニケーションと心理的安全性が確保された環境は、従業員定着率の向上に大きく寄与すると考えられています。電子メールはビジネスの速度と効率を劇的に向上させましたが、伝達・記録・文書配送を目的としており、コミュニケーション促進や良化のためのツールとしては不十分です。

このような状況への解決策として、ビジネスチャットや SNS を導入する企業が増えています。近年のビジネスマンは「文書作成」的なメール送信よりも、慣れ親しんだ SNS での「ライトな会話」を好意的にとらえる傾向もあり、特にグループチャットは協力型コミュニケーションの促進剤として大きく期待されています。

【課題】ビジネスチャット全社導入のネガティブ要素

- ・電子メールとの互換性がない（社外連絡には電子メールが必要、二重管理）
- ・情報の即時性が優先され、過去の情報検索・再利用には不向き
- ・ファイル管理やメッセージのドキュメント化が困難
- ・ユーザー主導でのバックアップや他システム移行、監査等が困難

これらの要素がビジネスチャット全社導入への高いハードルになっています。そこで弊社では、電子メールの有用性をそのまま残せるビジネスチャットを実現しました。サブスクリプション型のクラウドサービスのため、サービス解約時のリスクも、システム投資もありません。

【主な特徴】

● 電子メール／チャットの相互変換

受信した電子メールはチャットへ、送信したチャットは電子メールへ変換され、社内・社外を問わずチャットコミュニケーションが可能です。

● 「いいね」と「既読」

本サービスのユーザー間なら、チャット定番のライトなコミュニケーションも可能です。

● グループチャット

特定の話題や組織単位でチャットルームを作成し、情報共有と協力型コミュニケーションを促進できます。

● 多様なワークスタイルに対応

インターネット環境があれば、パソコン・スマートフォン・タブレットで場所を問わず利用できます。

● 情報の検索と絞り込み

メッセージ検索、添付ファイル検索、未読メッセージ一覧、社内・社外の切り替え表示が可能です。

● 添付ファイルのプレビュー

ファイルをダウンロードすることなく閲覧可能です（Word, Excel, PowerPoint, PDF, TEXT）。必要に応じてそのまま印刷することも可能です。

● 添付ファイルの一覧管理

スレッド単位やグループ単位で添付ファイルを一覧表示することが可能です。

● 電子メールフォーマットでの印刷

重要なメッセージを電子メール形式で印刷できるので、従来通りの情報整理やファイリングが可能です。

● システム導入やサーバ変更が不要

本サービスは、ほぼすべての電子メールサーバーへ「メールクライアント」として接続可能ため、既存システムへの影響がありません。

● データ保全と管理

本サービスは、電子メールサーバー内のメッセージデータに変更を加えませんので、従来の通りのサーバー管理が可能です。

【 価格 】

10 ユーザーまで定額：2,980 円

追加 1 ユーザーごと：350 円 ※月額・税別

【 本リリースに関するお問い合わせ先 】

株式会社データベーステクノロジー

京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町 65 番地 京都朝日ビルディング

TEL：075-231-6131

担当：管理グループ 矢ヶ崎優子 (yagasaki@db-tec.com)

企業ホームページ：<https://www.db-tec.com>

※上記内容は発表時点での情報です。その後変更となる場合がありますことご了承ください。